

【22_046/思考系メルマガ】未来は本当に予測できないのか？～『既に起こった未来』を把握する～

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

昨日は珍しく(?)EURJPYでトレードをしたのですが

トレードあるある、目線はしっかり一致したけど、僕は建値でした(笑)

～～

▼EURJPY(S) 結果: 建値撤退 ▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1493115569381732358?s=20&t=FQG7e_VQuCcRS

xIYACUPtA

D～H4足は、ショート方向への邪魔もなく、WLくらいまで狙ってOK

H1/10-20SMA帯に抑えられているのでショートの択

M15足の『MA収縮』も綺麗に決まっていたのでM5足の③波目を見込んで入ったが建値撤退

その後、同じ水準までもう一度戻ってきて揉み合いを経てから下落

～～

結果こそ、いつもと同じ要領で「建値」に移動した結果、返ってきてしまいました

これも結果論であり、不確実性の中では普通に起こり得る事。

次も同じように立ち回って、トータルプラスを狙ってチャンスを待ち構えます。

さて、常々色々な所で「しつこい！」と言われそうなくらいに言っている

『相場は常に不確実である』という話ですが

これは要するに、【先の値動きを予想する事は非常に難しい】という話です。

この原理原則を理解、納得していれば

トレードで勝つために一生懸命「手法」だけを追っていてもなぜ勝てるようにならないのか？

という理由を理解する事に繋がり、表面的な手法以上に

勝てるようになるための『考え方』にフォーカスすることの必要性を知ることに繋がります。

┌
└─┬─
■ 『既に起こった未来』=『過去の "事実" との繋がり』

さて、早速今日のタイトルの意図を回収しながら話を進めていこうと思います。

僕らトレーダーは、【先のこと(未来)を見通す】ことはできないという前提でトレードを行っています。

(「そんなことはない」と言い切る人もいるかもしれませんが、それはさておきですが)

ですが、「先のことは何もわからないから」と開き直って、適当な判断でトレードをしててもいいわけではないので

ここで考えを整理する必要があります。

それが『既に起こった未来』という、なんともヌメっとした抽象的表現になるわけですが。。

これ、僕が以前紹介した書籍『確率論的思考 / 田淵直也 著』からワードを引用しています(笑)

この本、下手なトレードのノウハウ本を読むより、遥かに『投機の本質』を学べる良書ですので

まだ読んでいない人は是非購入してみてください(レア本とかではないです)

話を戻しますね。

では、この『既に起こった未来』というのは何を指すのか？

それは『現状で分かっている事実(過去)』を基に導き出せる『分かること/分からないこと』を整理することで見えてきます。

はい、なんのことだか分かりませんね(笑)なので、具体例を出します。

この話をより理解しやすくするために、一つ例え話をご紹介します。

これも先日、僕がTwitterで呟いたことになりますが

僕はこの『既に起こった未来』を考えるのに、非常に良い例え方だなあと感じた文言をみかけました。

▼僕のツイートがコチラ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1492362845505347587?s=20&t=KwyFnRgQRTAxIJcYXBDeYQ>

この話から僕らが学び取るべき教訓を整理すると、こんな感じではないでしょうか。

・この先起こる事には、『予測できること/できないこと』がある。
(例:公園にいる子供が、この先何をするかは、予測しても分かりようがない)

・この先起こる『可能性』と紐づけしてもたらされる結果は『予測できる結果はある』
(例:公園にいる子供が、鳩の群れに突っ込んでいけば、少なくとも鳩は飛び立つことが予測は可能である)

僕らトレーダーの仕事は、この先々『起こる可能性がある』事象を事前に整理し

そこから導き出される結果が『想定しやすい』状況を予め把握しておくこと(これが、僕のいう『型』)である。

要するに『こうなったら、こうする』というプランを最低でも一つ持っておき、その想定が起こる『確率が高い』と判断したときに取引をする。

これが僕なりに考える『既に起こった未来』を知ることだと思っています。

もちろん、どこまで突き詰めてもそれはあくまで『可能性』なので、その予測と違う結果となれば『損切り』する、という前提はありますが

これをどれだけ精度よくやれるのか？を突き詰めていく必要があります。

多くの勝てずに苦しんでいるトレーダーは、今日の例えと対比して考えるなら

「この先どうなるかわからない抽象的な値動きを先読みすること」(≡子供の動きへの予測)に傾倒するあまり

「不確実さ」のなかに「自分都合な予測」を組み込んでトレードをするので

なかなか収支が安定しない。下手すると負け続けることになる。

ここでひとつ発想を変え、『いつも自分が認識している値動き(『型』の素)』を知り

その動きの起こり始めを察知しながら『いつも同じようなトレード』を繰り返すこと。

これにしっかり注力する意識をもって、技術を磨いていけば

僕は誰でも安定して稼げるトレーダーになれると考えています。

今後も僕自身の研鑽を通じて、この考え方を一貫して皆さんに勝つためのヒントを

提供できたらいいなと考えています。